

藤島こいぶ・医療生協 共催で「新春交流会」

藤島こいぶ委員会・庄内医療生協藤島支部の共催で「新春交流会」が23日、藤島駅前町内会館で25人が参加して開催されました。

庄内医療生協の加藤鉦一理事があいさつし、「安倍政権は新年度予算で軍事予算を過去最高の5兆1251億円。沖縄で墜落事故をおこしたオスプレイ1機100億円を4機も購入する。

一方、社会保障は当然増経費を1400億円も削り、70歳以上の医療費窓口負担の上限引き上げや後期高齢者の保険料値上げ、65歳以上の療養病床の居住費値上げなど負担増だ。これまでも70〜74歳の窓口負担を1割から2割へ順次移行し、入院給食費を1食260



「国内の投資信託で主流となっている毎月分配型投信で、運用成績

時々目にする事が有ったので、大して気にもしないので読んでみたらその中身にビツクリ。記事では、

「国内の投資信託で主流となっている毎月分配型投信で、運用成績

時々目にする事が有ったので、大して気にもしないので読んでみたらその中身にビツクリ。記事では、

円から460円に月1万8千円も増やされた。生協と医療生協の力を結集して、暮らしと健康を守る運動を今年も頑張ろう」と述べました。

講演では庄内医療生協の本間志賀子・看護部長が「冬の過こし方について」話し、参加者から「神経痛や」夫が上映されました。

元本を取り崩して分配金に タコ足分配でスツカラカン

知ってますか？「投資信託分配金」のからくり。

先日、何気なしに中央紙の経済面を開いたら、「元本取り崩し相次ぐ毎月分配型投資信託」という見出しが目に入った。

低迷による分配金の引き下げや元本（自分が投資をしたお金）の取り崩しが相次いでいる。投資助言会社によると2016年に分配金を引き下げた投信は約3分の1、元本を取り崩して分配金の全額を賄った投信は5割以上に達するとの推計もあり・・・（以下略）」と、

「普通分配」とは運用で得られた儲けから分配されるが、一方の「特別分配」とは儲け

運用で得られた儲けから分配されるが、一方の「特別分配」とは儲け



役員室
2階の一角に組合員常務3人の机がL字型に並んでいた。それぞれ関係機関や議会議員などの要職を兼ねているので、全員揃っていることは稀であった。

でもいけないのに儲けたように見せかけて出されたお金、つまり自分が出した元本の一部を取り崩して通帳に振り込まれて喜ばされているだけで、おまけに自分のお金を自分の通帳に振り込んでもらうために、銀行等の取次機関や運用会社に手数料や信託報酬を払っていることになるので、二重三重に元本が減ってしまう事に、という惨めな結果になりかねないという。

私の昭和 57

鈴木重雄（89歳・八色木）

ニコして見ている。

担当常務に書類を出し説明し会議日程などを決める。

隣の営農担当の常務は横を向いて新聞を読んでいる、担当以外の書類は目も通さず隣に押しやっていた。

組合長が四方山話をして緊張をほぐしてくれた。

翌年機構改正で常務理事一人となった。

2017年 新春に思う

成澤功(中町)

めでたさも 中位なり
おらが春 一茶

昨年10月、自転車で
買い物に行く途中、側
溝に落ちて右腕打撲の
傷を負った。越年して
今も近所の菅原整形外科
に通っている。傷その
ものは全快したが、全
身に倦怠感が残ってい
る。

米国に1月20日トラ
ンプ大統領誕生。その
時その時の思いつきだ
けのツイッターでしゃ
べりまくっている。世
界一の経済・軍事面
の強国だけにその影響
力は大きい。残念だけ
どこれが現実である。
「ババ引くぞ 気まぐ
れつぶやくトランプさ
ん」

一方、明るいニュー
スが生まれた。稀勢の
里横綱へ。19年ぶりの
日本人横綱である。
「待ってたぞ 日本カ
士の土俵入り」
時間がかかったと言
つてもまだ30歳。これ
からの土俵を更になぎ
やかにしてくれるでし
よう。多くの日本人の
素朴な感情です。

トランプさんは、日
本駐留米軍の負担軽減
や日本・韓国の核兵器
保有などいい加減な与
太話を飛ばしているが、
日本は真面目に受け取
って頭を悩ますことは
毛頭ない。はつきりと
正面から撥ね付けるこ
とです。

そしてアメリカの不
当な要求を逆手にとっ
て、日本から米軍に出
て行ってもらいましょ
う。

トランプ大統領の存
在が日本にとって不幸
と思わず、この際日本
も頭の切替を図ったら
いかがでしょうか。
「つぶやきの 禍転
じて 福となれ」

トランプ大統領は公
約どおり就任初日にT
PP離脱を表明しまし
たし、就任演説では、「政
治家は繁栄してきたが、
国民は仕事がなくなり



工場は閉鎖され、国民
を守ってこなかった」
「母親と子どもたちは
貧困にあえぎ、：教育
は金がかかり」などと
日本と同じようなこと
を言って、これからの
政治は、「アメリカの勞
働者とアメリカの家族
の利益のための政治に
する」と言っていました
たですね。

軍隊を持ち武力行使す る「普通の国」でないこ とが、逆に日本の強み

―あらためて憲法を学ぶ 青山崇

元ニューヨーク・タ
イムス東京支局長マー
ティン・ファクラーさ
んが、『世界が認めた「普
通でない国」日本』を
昨年暮れに発行し力説
している言葉です。
「世界で日本ほどイ
メージがいい国は少な
い」、それは、戦争を放
棄する平和憲法を掲げ、
71年もの間ずっと平和
で、戦争を一度も起こ

さなかったからと記し
ています。
米軍の軍事介入で紛
争がますます激化し難
民が激増する世界で、
これと違う道を模索し
ている時代に新たなモ
デルになる可能性があ
ると9条を高く評価し
ています。
強い軍事力を持たな
いと、中国や北朝鮮に
なめられるだけだ。軍

備増強と日米軍事同盟
のおかげで、平和を維
持できたという風潮を
批判し、軍事によらな
い道、9条を持つ「普
通の国」でない国、日
本国憲法の示す道を世
界が歩むことを求めて
います。

日本は平和的生存権
を憲法に明記する唯一
の国。前文に「全世界
の国民が、ひとしく恐
怖と欠乏から免かれ、
平和のうちに生存する
権利を有する」と記す。
「全世界の国民が権利



共謀罪法案に注意

戦争へ戦争へと着々
というところだぜ。教
育基本法を変え、盗聴
法・秘密保護法・そし
て戦争が出来るように
と先に強行採決した安
全保障法Ⅱ戦争法で、
武器を持たせて自衛隊
を外国に出した。

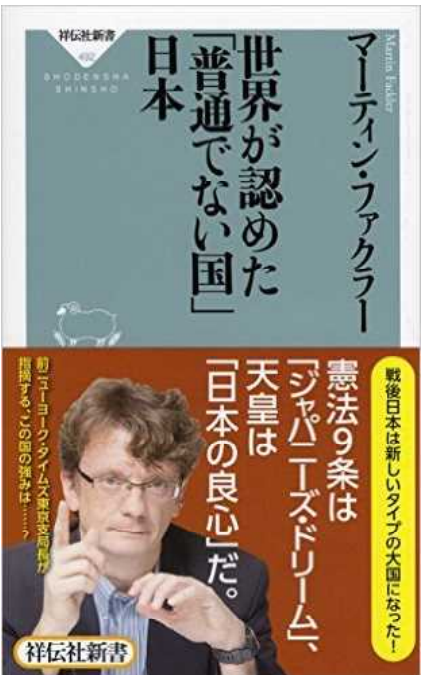
▲これらの流れは憲法
を変えたいとする集団
が考える、元号法の制
定からの長い道のりな
んだとか。次の段階と
しては戦争に反対する
者を抑え込まなければ
ならないというのだ。
▲そのために準備され
ているのが近頃目にす
る「共謀罪法案」とい
うヤツ。名前を変えて
出てきたが今回が4回
目だ。つまりとんでも
ない中身なので3回も
つぶれた法律なんです。
▲想定している状況・
つまり逮捕する状況は
600以上も考えられ
ていたんだと。だから

を有する」とまで書い
ています。
平和的生存権を認め
ようという運動は、2
000年のイラク戦争
後世界各地に広がりま
した。昨年11月国連総
会委員会で賛成多数で
可決、総会でも採決さ
れるとみられています。
人権として定義され
れば、大国でも多数決
でも奪えない権利とな
り、平和の問題が、政
府まかせではなく個人
の権利の問題となる画
期的なことです。

公明党があんまり多
ざるとクレームをつけ
て少し削ったようだ。

▲しかし、法律が出来
てしまえばほとんど法
律を変えてそこまで出
来るといふ事だぜ。か
つての「治安維持法」
がそうであったように、
最後は作家の小林多喜
二が警察で取り調べの
うちに殺されたように
も変えられていくのだ。
▲過去3回もダメを食
ったのは治安維持法と
同じだからで、それを
十分知っている公明党
が今回やったことは、
国民の目を誤魔化すも
のと言えませんか。

▲注意しなければなら
ないのは、東京五輪に
カッゲテ、「テロ」が入
ってきては困るからだ
という事。こんな法律
がなくてもテロからは
守れる体制はあるんだ。
▲これまで、「国際
貢献」「テロ対策」
という言葉には、国
民が弱かったんじや
ないですか。用心・
用心。だぜ。(石川)



世界が認めた「普通でない国」日本
マーティン・ファクラー(著) (2016・12・02発売
・祥伝社新書)